



シンボルマーク

第23回全国健康福祉祭

ねんりんピック石川2010 剣道交流大会を終えて

実行委員会委員長 柘谷 敏雄

石川県剣連だより 剣風春秋

第27号

発行

石川県剣道連盟
広報委員会

- ・会期 平成22年10月9日(土)～10月11日(月・祝)
- ・会場 羽咋市 羽咋体育館
- ・参加 計67チーム

羽咋市ねんりんピック推進室が兼務しながらの頑張り、役員全員の適切な運営、選手の活躍、会員選手家族の強力な応援のもと、大会を盛大に成功裡に終了することができました。

開催三年前に会場地が決定、開催地羽咋市は県剣連と調整連携しながら21年6月羽咋市実行委員会を立ち上げ、8月には各団体のトップを切って北信越大会をリハール大会として開催しました。この時県及び各開催地から多数の視察を受け、大会の運営について見本を示すことができ、本番に向けて自信を深めた。競技役員は県剣連中心に編成、式典全般については羽咋郡市剣連理事長北川信之、進行の中心は副理事長の北橋明伸、役員には高体連、中体連、地元剣連、補助員に高校剣道部の生徒、その他プラカード保持者等は羽咋高校生徒の協力で行い、人員も必要最小限で実施しました。開催までの間に何回も調整会議を行い、当日はスムーズに式典及び運営ができた好評を得ることができた。

審判員についても60歳以下40歳以上で編成し、事前の講習会、直前の会議で山下和廣審判長の指示のもと、適正・公平しかも先輩に敬意を表しながらも適確な運営、判定を行い立派な試合、大会ができたと思っています。

選手強化は二年前から大橋靖弘強化委員長を中心に本年四月迄は、月一回、四月からは毎週一回、県武道館や羽咋市で合同練習を行いました。昨年の札幌大会では第三位に入賞し、他県選手団に石川は強化をやっていると印象づけると共に手応えを感じ、選手も一段と稽古に熱が入った。大会本番の初日は予選リーグで緊張感からやや固さもあつたが、決勝トーナメントでは思う存分力を出し切り立派な試合内容であり、他県選手団からは「良い動き」「まるで40代の試合」「どのような強化をやったのか」等感嘆の声が多く聞かれ高い評価を得ました。

選手の頑張りに頭の下がる思いですが、家族の協力応援も見逃すことができません。又、C組大将を務めた宮野守治さんには長年剣道から離れていたのをお願いして頑張ってもらいました。これぞ人生意気を感じるです。そして強化日には穴田会長自らが面を付け選手の手を範となり激励し、またマネージャーを務めた中西有紀子さんの献身的な気配りをも忘れることが

できません。このように成功裡に大会を終えたのも会員が一丸となつた成果だと思つています。ご協力ありがとうございました。

.....

成績は次のとおりです。

優勝・二位・三位 県勢が独占

「予選リーグ」

石川A	9-5	0	0	高知県
石川A	9-5	0	0	千葉市
石川B	7-4	0	0	鳥取県
石川B	7-5	0	0	徳島県
石川C	3-2	0	0	山口県
石川C	6-3	0	0	岩手県

「決勝トーナメント」

「一回戦」

石川A	5-3	0	0	福井県
石川B	5-2	0	0	広島県
石川C	5-3	0	1	愛媛県

「準々決勝」

石川A	8-4	0	0	岐阜県
石川B	6-4	0	0	埼玉県
石川C	3-3	0	2	愛知県

「準決勝」

石川A	5-3	0	0	石川C
石川B	5-2	0	1	北海道

「決勝」

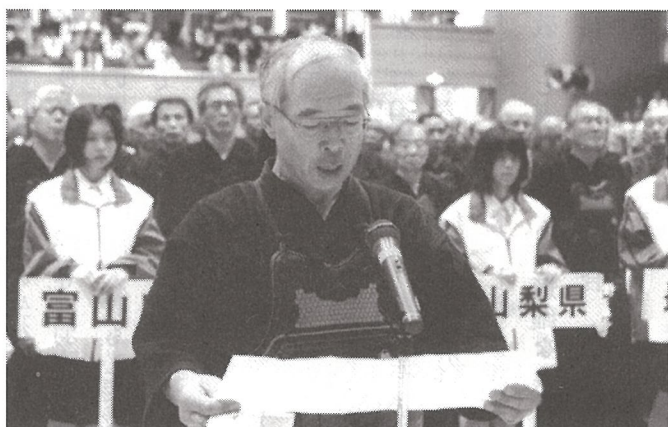
石川A	4-2	0	0	石川B
-----	-----	---	---	-----

【選手団】

◎チーム名	石川県A
監督	大橋 靖弘
先鋒	大浦外志男
次鋒	南 信廣
中堅	斉藤 實
副将	高嶋 淳一
大将	組橋 貞夫
交替選手	大橋 靖弘
交替選手	土田 敏勝

◎チーム名	石川県B
監督	中村 康徳
先鋒	中村 康徳
次鋒	寺内 泰良
中堅	鈴木 庸雄
副将	木倉 隆雄
大将	押田 弘光
交替選手	稲垣 知正
交替選手	木村 正仁

◎チーム名	石川県C
監督	伊賀 清秀
先鋒	越田 朝三
次鋒	川口 憲一
中堅	伊賀 清秀
副将	安原 重信
大将	宮野 守治
交替選手	田畑 武正
交替選手	林 達也



ねんりんピック強化について

強化委員長 大橋 靖弘

石川県チームは3チームとも決勝トーナメントに進み優勝、二位三位と最高の成績で幕を閉じました。ここ迄の道のりを少し述べたいと思います。

平成20年3月に2年後の石川大会で地元として最高の結果を上げねばとの話がなされました。というのは過去の成績を見てみると21回の大会で17回地元チームが優勝し且つ優勝・準優勝している所が6県もあつたからです。

同年ねんりんピック鹿児島2008へ視察に行きました。一日目の予選リーグでは力の差が見受けられました。決勝トーナメントではさすがに勝ち抜いてきただけあつて、それぞれのチームは相当な力を持っていると見てきました。鹿児島チームは2チーム出ていたのですが、変則リーグ戦のため2勝しながらも次に進むことができませんでした。鹿児島の理事長は「誤算だ」と落胆しているのを見て、

予選リーグは勝ち点を取れるだけ取らねば安心しておれない事を痛感しました。

話が前後しますが、この年7月毎月一回行われていた「高齢者稽古会」を引き継ぐ格好で対象年齢の人たちに声を掛け、名称を「ゆう稽古会」と変え稽古を始めました。翌21年1月次年度の役員改選を念頭に次の体制が取られた。総監督大橋、監督高嶋、中村、伊賀、庶務中西で選手強化を担当することになりました。石川県から3チーム24名を監督・選手として出さねばなりません。競技人口が少なくなかなか揃わなくて、各種の名簿から70歳以上7名、65歳以上12名、60歳以上22名合計41名を洗い出し文書であるいは口頭で稽古会参加を呼びかけた。最終的には計34名になりました。

した。最初は途中休む人もいたが、直ぐ全員がやり遂げるようになりました。

21年6月北海道大会の選手を選抜してから1分間の試合、4分間の稽古、7月からは4分間の試合を取り入れ、大会に挑み予選リーグを通過して決勝トーナメントに進みました。石川県は過去に1回進出しており2回目でした。16チームによるトーナメント戦で準決勝で高知に2対3で惜敗しましたが、初めての入賞の喜びと同時に今までやってきた稽古が間違っていないかつたとの自信がつくと同時に他県への示威となりました。この時北海道は5チーム出場しましたが入賞は2チームでした。石川は3チームが入賞との目標を掲げ10月からは更に厳しい稽古に入りました。基本打ちは連続技を主体に休まず打ち続けること、稽古は4分間の中でお互い打合いをして且つ相手の不十分な打突の後には、直ちに打ち返すことを課題に2時間みっちり行いました。5月までは月2回、6月は3回、7月は5回、8月3回、9月5回とほとんど毎週稽古でした。

又、午前稽古及び試合をして、午後試合及び稽古というように大会の進行を想定したこともやりました。県立武道館、羽咋武道館、羽咋体育館と場所が変わっても集まる人員は、常に20数人集まりました。勿論6月に石川大会の選手が決定した後も参加人数は変わりません。

9月に入って富山県チームが2回来て石川の4チームと対戦しました。石川の動きが相手と比して大きく違っており、よほどのハプニングが生じなければ目標の全チーム入賞はそう遠くないと感じてきました。又、選手も自信を持つて大会に臨めると確信したようです。そして冒頭に記述した理想の結果を達成しました。

60歳を過ぎて体力も持久力も大幅に落ちていの中で毎回厳しい打ち合いをやりこなし、又、大きな怪我もなく特に今年の夏は猛暑で熱中症の一手手前まで頑張つて途中落伍者もなくやり遂げました。最後まで一丸となれる素晴らしい剣士に感謝いたします。そして還暦を過ぎておりますが青春を味わった感が残っています。

アカシア剣道教室

・創設 昭和三十九年一月
・創始者 橋本 武雄

当時、内灘町の新興住宅団地であったアカシア団地の父母から、子供達に剣道を教えて欲しいとの要望があり、それを受けて今は亡き創設者の橋本武雄先生が団地の公民館を稽古場として、子供達を集め指導を始められ、教室としてスタートしました。現在は向粟崎体育館に稽古場を移し、教室の卒業生を中心とした指導者が、心身共に健康で逞しい剣士の育成を目標に稽古に励んでいます。卒業生からは全日本女子選手権出場者も輩出し、諸先輩に続けと子供達も稽古に取り組んでいます。



・稽古日 週三回 (月水金)
・時間 一時間三十分
・指導者 鶴島 豊正 錬士六段
北川 壮一郎 四段
高見 秋彦 四段
大谷 武視 三段

【指導方針・重視していること】
一、大きな声で挨拶する。(指導

県下の剣道場・剣道教室めぐり

者から積極的に声かけをする。
一、試合の勝ち負けも大切だがそれにとらわれすぎないようにする。(打って反省、打たれて感謝の気持ちを持つて欲しい。)

一、技術的には、基本打ちは大きく強く、仕掛技は先の気持ちで、応じ技は正確に、地稽古は試合のつもりでなどに注意しています。

【保護者からのご意見】

剣道を通じ、厳しさの中から頑張れる自分を知り、努力は自信につながる力を生み出してくれ、事を感じて欲しい。又、礼儀や挨拶のしかた、声の出しかたを学び、学年が違う仲間との交友や相手思いやる気持ちをもてる人間に育つて欲しいと思います。

【剣道を習って良かったこと】

- 以前よりしつかり挨拶が出来るようになった。
- 困った時は助け合い協力して行動が出来たようになった。
- スタミナが付き、体がつりりして良かった。
- 厳しい稽古で試練を乗り越えられるようになった。
- 剣道を習ったら違う学校の人も友達になれて良かった。

高見・川上・三村君より

千里浜剣道教室

・創設 昭和五十三年四月



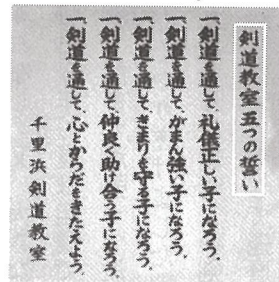
千里浜公民館の館長であった板尾秀二先生が地域の活性化を目的として創設されました。教室のシンボルマークは、千里浜の千鳥と波とを「和」を表す円で囲んだものです。平成十四年度には、日頃の地域活動への貢献が認められて、社会体育優良団体として文部科学大臣表彰を受章することができました。普段の稽古では、市内の先生方が熱心に指導され、町全体として一緒に成長していけるような教室を目指しています。



・稽古日 週三回 (月水金)
・時間 一時間三十分
・指導者 蓮本 義哲 四段

【指導方針・重視していること】

「礼道」をモットーに、周囲への感謝の気持ち大切にしています。また、剣道を通して、仲興助け合子になろう、五つの誓いを稽古の前には必ず全員で唱和して基本目標の確認をしています。



【保護者からのご意見】

いろんなスポーツがある中で、剣道を選び、寒い日も暑い日も稽古に通う子供達を見ると、みんな剣道が好きなんだと感じますし、千里浜剣道教室がそのような雰囲気のある教室なんだと思います。そして「五つの誓い」を実践できるような人間に育ってくれることを願っています。

【剣道を習って良かったこと】

- 勝つことの喜び、負けることの悔しさ、努力することの素晴らしさなど、剣道の魅力をたくさん学んだ。
- 「礼儀」や「我慢する力」を学んだ。
- 仲間と一緒に戦うこと、協力し合うことの大切さを知った。
- 試合に勝って、楽しくなった。
- 大きい声であいさつができるようになった。



【県内大会記録】

◎第47回石川県居合道大会

4月4日(日) 石川県立武道館

【段外の部】

最優秀賞 金子 恭子

優秀賞 酒井 あかり

山形 健斗

【式段の部】

最優秀賞 源 美奈子

優秀賞 吉田 知一

嶋崎 奈緒

【参段の部】

最優秀賞 埴田 訓代

優秀賞 二木 有紀江

【四段の部】

最優秀賞 北川 裕美子

優秀賞 越野 美喜

高柳 陽一

太田 貞夫

【五段の部】

最優秀賞 山口 春夫

優秀賞 望月 隆

南川 渉

【六段の部】

最優秀賞 作田 剛也

優秀賞 ビットマン・ハイコ

◎第58回石川県都市対抗剣道大会

4月18日(日) 石川県立武道館

【参加チーム】

輪島市・七尾市・鹿島郡・羽咋郡市・河北郡市・金沢市・石川郡・白山市・能美郡市・小松市・加賀市

優勝 河北郡市

準優勝 白山市

第三位 加賀市・石川郡

◎第57回石川県高校春季剣道大会

4月25日(日) 金沢大学体育館

【男子団体】

優勝 桜丘高校

準優勝 泉丘高校

第三位 羽咋高校・星稜高校

最優秀選手賞 山嶋 大雅(桜丘)

【女子団体】

優勝 星稜高校

準優勝 羽咋高校

第三位 津幡高校・桜丘高校

最優秀選手賞 澤田 有(星稜)

◎第44回石川県勤労者春季剣道大会

5月16日(日) 石川県立武道館

【団体】

優勝 金沢刑務所

準優勝 北陸綜警A

第三位 新化館A・北陸綜警B

【男子個人】

優勝 佐藤 博之(北陸綜警)

【女子個人】

優勝 藤田 涼香(一文字会)

◎ゆうゆう石川スポーツ交流大会剣道競技

4月29日(祝) 石川県立武道館

【65歳未満の部】

優勝 川口 憲一

準優勝 越田 朝三

第三位 中村 康徳・寺内 泰良

【65歳以上70歳未満の部】

優勝 高嶋 淳一

準優勝 木倉 隆雄

第三位 林 達也

【70歳以上の部】

優勝 組橋 貞夫

準優勝 金谷 啓次郎

第三位 宮野 守治

【最高齢者賞】 井上 伊之助(84歳)

◎第26回石川県女子剣道大会

5月23日(日) 石川県立武道館

優勝 北陸綜警A

準優勝 森華会

第三位 小松剣友会・北陸綜警B

◎平成22年度石川県高校総合体育大会剣道競技

6月3日〜5日 羽咋体育館

【男子団体】

優勝 桜丘高校

準優勝 羽咋高校

第三位 金沢市工高校・星稜高校

【男子個人】

優勝 竹越 歳樹(桜丘)

【女子団体】

優勝 星稜高校

準優勝 金沢高校

第三位 航空石川・羽咋高校

【女子個人】

優勝 越野 葵(津幡)

◎第5回石川県都市対抗少年剣道大会

6月26日(土) 石川県立武道館

【小学生の部】

優勝 河北郡市A

準優勝 金沢市A

第三位 羽咋郡市A・能美郡市A

【中学生の部】

優勝 鹿島郡A

準優勝 河北郡B

第三位 鹿島郡B・河北郡A

◎第49回全日本女子剣道選手権大会石川予選

6月27日(日) 石川県立武道館

【石川県代表選手】

長塚 美可子(星稜大)

◎第53回石川県中学校体育大会剣道競技

7月18日〜19日 小松総合体育館

【男子団体】

優勝 宇ノ気中学校

準優勝 鹿西中学校

第三位 東和中学校・邑知中学校

【男子個人】

優勝 松本 翔吾(清泉)

【女子団体】

優勝 宇ノ気中学校

準優勝 鹿西中学校

第三位 羽咋中学校・邑知中学校

【女子個人】

優勝 細川 葉(鹿西)

◎第62回石川県民体育大会剣道競技

8月8日(日) 小松桜木体育館

【一般男子】

第一位 小松市

第二位 かほく市

第三位 金沢市・宝達志水町

【一般女子】

第一位 内灘町

第二位 宝達志水町

第三位 金沢市・かほく市

【壮年男子】

第一位 野々市町

第二位 加賀市

第三位 かほく市・白山市

【壮年女子】

第一位 羽咋市

第二位 かほく市

第三位 津幡町・加賀市

◎第58回全日本剣道選手権大会石川予選

8月14日(土) 石川県立武道館

【石川県代表選手】

中村 直紀(石川県警察)

◎第42回石川県少年剣道錬成大会

8月1日(日) 石川県立武道館

【四年生の部】

第一位 供田 崇広

第二位 浦川 良博

第三位 嘉野 峻太郎・中生吹

【五年生の部】

第一位 四郎丸将己

第二位 曲師 悠汰

第三位 桜吉 威風・中村 祐馬

【六年生の部】

第一位 中越 泰士郎

第二位 山岸 文也

第三位 上井 亮・山名田勇也

◎第54回石川県別剣道選手権大会

8月29日(日) 石川県立武道館

【男子】

【初段の部】

第一位 西川 大貴

第二位 松本 行史

第三位 中条 勝貴・北市 琢哉

【式段の部】

第一位 中村 吉成

【全国大会・県外等の記録】

◎第58回全日本都道府県対抗剣道優勝大会
4月29日(祝) 大阪市中央体育館

〔石川県代表選手〕

先鋒 竹越 歳樹

次鋒 山路 亮吾

五将 佐藤 博之

中堅 本吉 秀充

三将 中村 直紀

副将 塩野 克幸

大将 本橋 克也

一回戦 石川 2-1 神奈川

◎第48回北信越高等学校剣道大会
6月19日~20日 砺波市庄川体育センター

第二位 枘田 拓真
第三位 安田 廉平・北市 裕祐

〔参段の部〕
第一位 金村 正
第二位 桶谷 大樹
第三位 大海 栄二・山崎 清貴

〔四段の部〕
第一位 篠井 皓太
第二位 上登 喜文
第三位 源 竜一・青木 孝憲

〔五段の部〕
第一位 中村 直紀
第二位 竹田 洋之

〔六段以上の部〕
第一位 小松 功典

〔初段の部〕
第一位 生瀬 早希
第二位 岡田 麻里子
第三位 鎌倉 萌音・鍋谷 実夢

〔式段の部〕
第一位 澤田 有
第二位 東谷 優
第三位 細川 実月・山本美珠稀

〔参段以上の部〕
第一位 滝下 彩乃
第二位 長塚 美可子

〔男子団体〕
優勝 桜丘高校
男子優秀選手 野村 和寿(桜丘)

〔女子団体〕
第三位 羽咋高校
〔男子個人〕
第三位 竹越 歳樹

◎第2回全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会
7月17日(土) 日本武道館

〔石川県代表選手〕
先鋒 越野 葵
次鋒 佐藤 いずみ
中堅 藤田 涼香
副将 千葉 博美
大将 宇波 真奈美

一回戦 石川 0-3 埼玉

◎第31回北信越中学校剣道大会
8月4日(水) 福井県立武道館

〔男子団体〕
優勝 宇ノ気中学校
〔女子団体〕
第三位 鹿西中学校

〔男子個人〕
優勝 松本 匡央(宇ノ気)
〔女子個人〕
第三位 森田 紗世(羽咋)

◎第57回全国高等学校剣道大会
8月3日~6日 名護市21世紀の森体育館

〔男子団体〕
桜丘高校 予選リーグ敗退
〔女子団体〕
星稜高校 予選リーグ敗退

〔男子個人〕
竹越 歳樹(桜丘) 一回戦出場
山嶋 大雅(桜丘) 二回戦出場
〔女子個人〕
浅井 千香(桜丘) 三回戦進出
越野 葵(津幡) 二回戦出場

◎第52回全国教職員剣道大会
8月10日(火) 山口市スポーツ文化センターアリーナ

〔石川県代表選手〕
先鋒 本吉 秀充
次鋒 中井 秀人

中堅 山森 宣和
副将 田畑 武志
大将 山本 勝好
一回戦 石川 2-1 和歌山
二回戦 石川 1-2 群馬

〔各都代表選手〕
義務教育の部
中井 秀人 一回戦敗退
高大教の部
山森 宣和 一回戦敗退

女子の部
諸江 由佳 三回戦進出

◎第40回全国中学校剣道大会
8月22日~24日 島根県立浜山公園体育館

〔男子団体〕
宇ノ気中学校 予選リーグ二敗
〔女子団体〕
宇ノ気中学校 予選リーグ一勝一敗

〔男子個人〕
山崎 輝也(鹿西) 二回戦進出
松本 翔吾(清泉) 二回戦出場
〔女子個人〕
木島 美美(鹿西) 一回戦出場
細川 葉(鹿西) 二回戦出場

◎第31回北信越国民体育大会剣道競技
8月22日(日) 砺波市庄川体育センター

〔少年男子〕
新潟 3-2 石川
長野 3-2 石川
福井 3-2 富山
石川 3-2 石川

〔少年女子〕
石川 3-2 新潟
石川 4-1 福井
石川 4-1 長野
石川 3-2 富山
石川一位(本国体出場)

〔成年女子〕
石川 2-1 新潟
石川 3-0 富山
石川 1-2 福井
石川 2-1 長野

林藤武道具店

〒920-0803 石川県金沢市神宮寺町1番地83
Tel.076-252-2220 Fax.076-252-2240
E-mail:budou@po3.nsknet.or.jp

〔営業品目〕
剣道・柔道・空手・なぎなた・武道具全般
(刺繍・ゼッケン・ネームプリントも承ります)

●定休日/月曜日



武道具の
ハシモト
KIRI BRAND

金沢市上荒屋7丁目67 TEL 249-8233
〒921-8065 FAX 249-9139